

敗北

ヒロインコレクション

まけこれ

3

R-18

ADULT
ONLY





私は悪魔侯爵に
愛玩動物として
飼育されていた



彼や配下の悪魔たちは
毎夜私を慰みものにして



満足すると
私を鎖につないで
人間界を侵略に出る



そんな日々が
しばらく続いたあと…

起きろ
シルフィエッタ

ハンティング
精昌女狩りに行くぞ

…え？





サラマンティネ!
一人で突っ込みすぎだ!



うっさい!

こうしてる間にも
あの子が酷い目に
あわされてるかも
しれないんだから!



あっ! 待て!

タッ!



ッ!?



お願いシルフィ...

どうか無事でいて...!











わかってるぞ
シルフィエッタ

かつての同胞を
想ってか
それとも――

わざと
サラマンティネを
取り逃がしたな？

罰を期待して
いたのか？

それ…はッ！

お前はもう
精昌女としては
生きられないのだよ

奴らがお前を
受け入れたとしてもな

来い

そのことを
よく思い知らせて
やろう

あ…ああ

サラ!?

シ…ルフィ…
ミャ
ラッ

そんな…
どうして…

バックアップは
万全にして
やらねば

回収しておいて
やった

可愛いペットの
初陣だ



この雌は

お前が墮とせ

そんな…こと



拒むのなら
配下の者たちに
任せても構わんが—

途中で殺してしまう
かもしれんぞ?

乱暴な奴らだ
よく知って
いるだろう?





悪魔からサラを
守らないと……!!

サラ……

ズ

ドギン
私が……

ドギン

私の力で!

シ……ル……

大丈夫

私を……信じて!

——あれ……

私 どうしたんだっけ……

確か悪魔に
捕まって……

かちや

かちや

そうだ
シルフィが大丈夫って
言ってくれたんだ

かちや



大変な事に
なっちゃってるのに
シルフィが
大丈夫って言うとなんか安心する——

いつも私を
元気にしてくれた
優しい言葉

かちや……

だから……
気が抜けちゃって

サラ!

目が覚めたのね!

っ
!?



シル…ファイ!!
なに…これ?
どういうこと!?

ん?
ん?
ん?

ごめんね?
びっくりしたよね?

怖がらせたくなくて
眠ってる間に
準備しておいたの!

キーン!!

私ね サラを
墮とせて命令されて
どうしたらいいか
たくさん考えたんだ

サラに痛い思いも
苦しい思いも
させたくないの

だから――

んっ♡

ちゅく

むぐっ!?





ねえ見て

こ・れ♡

なあーんだ？

今からこれを
サラのなかに
挿れるんだよっ

ふあ…あ…

今まで私の膣内に
挿入ってたから
とろとろあつあつ♡

ほら見て
おへその上まで
届いちゃう♡

こんなの挿れられたら
子宮までガバガバに
なっちゃうね♡

あはっ♡今
想像して軽く
イっちゃったでしょ？

私との間接えっち
期待しちゃったんだ♡

ッ！！

いつもサラが
私を見る目
すごくえっち
だったよ

前は
女の子同士だし
気のせいかなって
思ってたけど…

ずっと私と
こういうことが
したかったんだよね？

ふふっ…
うれしい♡

ド
ン
ッ

ド
ン
ッ



ほら♡
私のえっちなおつゆ
ぜんぶのんで♡

そしたらもっと
私のこと好きに
なっちゃうから♡

私もサラのココ
いっぱい
舐めてあげる…♡

あたま
おかしくなる…!

えっちな
オオイ♡

おいしい♡

ん♡

ん♡
お♡
う♡

ム♡

は♡

は♡

ち♡

ず♡

ち♡

ん♡

ん♡

ん♡

触れられたところも
舐められたところも
全部ジンジンするの
収まらない…!!

んっ… サラの
えっちなおまんこ

早く挿れてほしいって
ひくひくしてるね♥

やめて
シルフィ…!!

今 そんなの
挿れられたら…
私…!!

いや…

じゃあ…
サラのはじめて
私がもらっちゃうね♥

だめ…ッ!

大丈夫
最初はゆっくり
してあげるし
まだ全部は
挿れないから

ビクッ
ビクッ
ビクッ



それから…まるでたがが
外れてしまったみたい
にシルフィの陵辱は
激しさを増していった

じゃあ次は
お尻ね♥

お薬はココからが
イチバン効くんだよ

サラは
どうなっちゃうかな？

ふふっ♥

私のおしっこ
お口に溜めて
味わってるの？

でもちゃんと
飲んで欲しいんだよね

お口にもこれ

挿れちゃおっか♥

う…う

うわっ

おっ

私の穴という穴に
シルフィのあらゆる体液が
注がれて…

あは♥すごい
お腹の中までぽっかり

サラが私専用の
おしっこタンクに
なっちゃった♥

オゴ

おご

げ
な
ばた

ぞ
ぞ

汗も吐息も纏う淫臭も
その全てが媚毒となって
私を蝕んでいく

サラのおしっここの穴
ずっとぴくぴくしてて
かわいいそう…

もしかして…ここにも
挿入っちゃうのかな？

ちゅ

くち
くち
くち

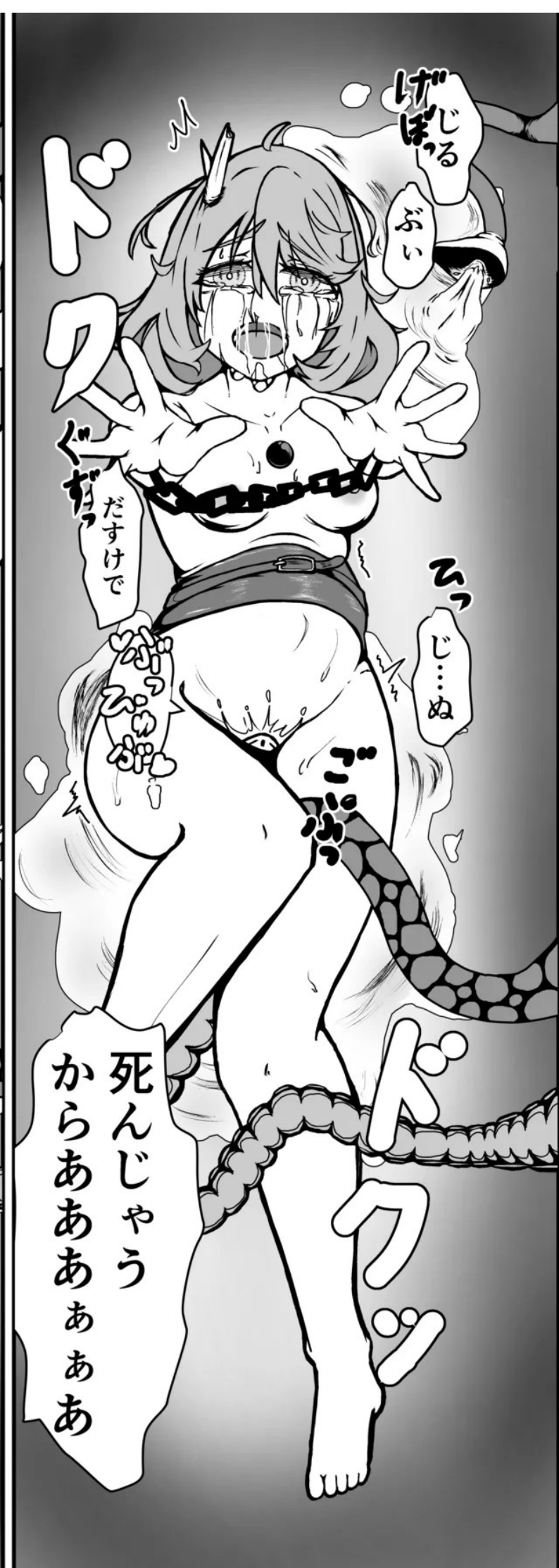
見て♥
素敵なドレスでしょ？

ご主人様が
用意してくれたの♥

これがあれば
私の媚毒をいくらでも
搾り出せるよ

お腹いっぱいになるまで
注ぎ続けてあげる♥





それじゃ 私
ご主人様のところに
行かないやだから

ごん

このまま
いい子にしててね

おー

一週間くらいしたら
迎えにくるから

ごん

と

ふ

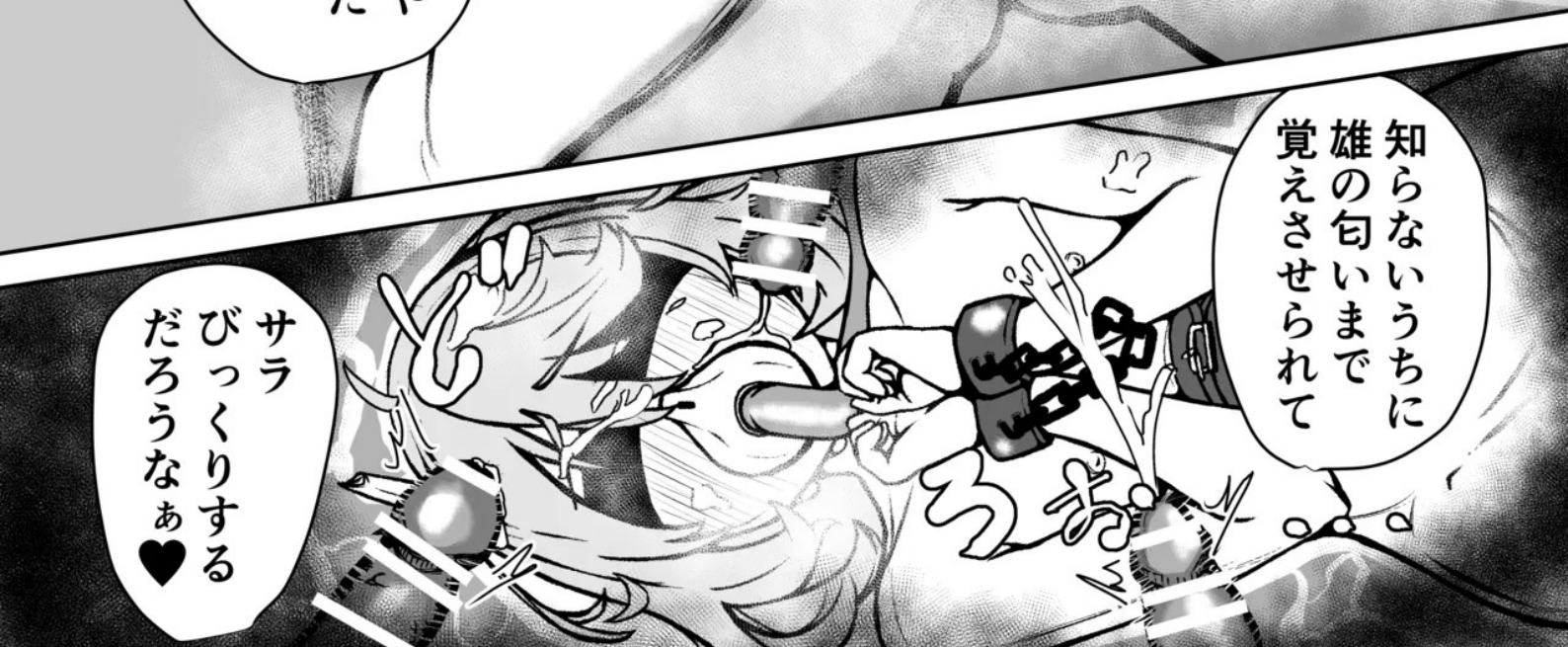
人





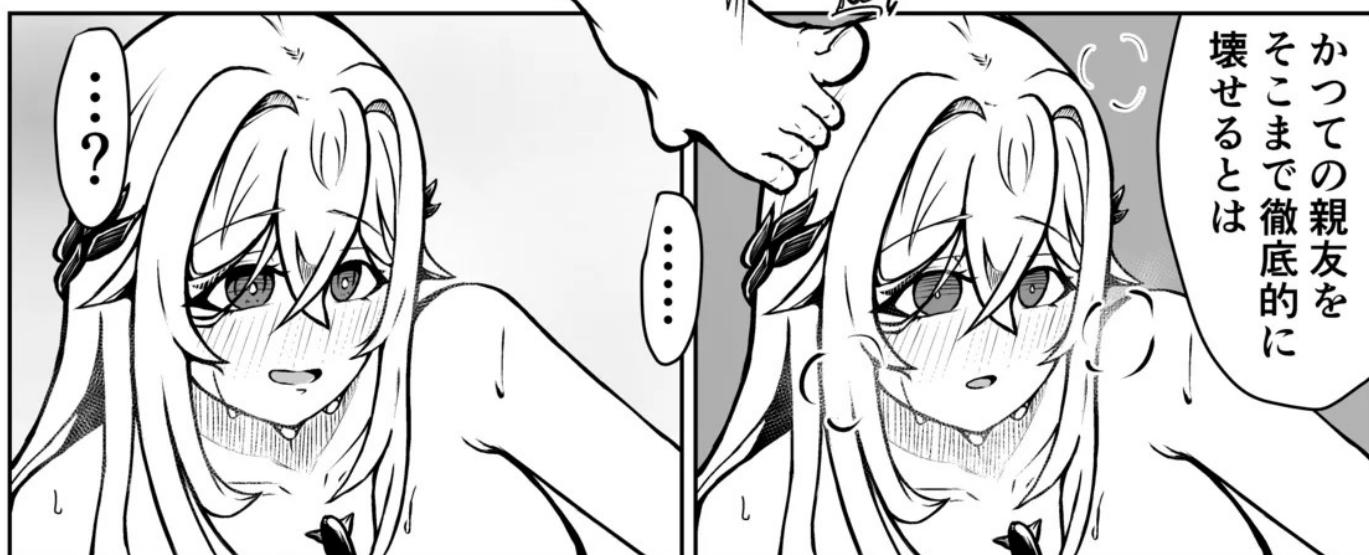
お風呂にはご主人様や
みなさんにいただいた
精液もいっぱい
混ぜてきたんです♡

それで...えっ♡



知らないうちに
雄の匂いまで
覚えさせられて

サラ
びっくりする
だろうなあ♡



——って
ご主人様が
いうんだよー

ぶくー
ざー

酷いと思わない？

だ…あ

あ…うー

し…うー





とっても可愛いよ

サラ





サラミーンティネ



Twitter: @JAMPancle
pixiv :89354574

〈まげこれ 敗北ヒロインコレクション〉

発行日: 2023.03.13
発行: JAM pancle
MAIL: jampancle@gmail.com





2023.08.13
JAM pangle
For Adoult Only

無断転載・複製・複写・web上へのアップロードを禁じます